

池田満寿夫の版画

2007年11月20日(火)—12月24日(月・祝)

開館時間 午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日 毎週月曜日ただし12月24日(月)祝は開館
主催 京都国立近代美術館

京都国立近代美術館 (岡崎公園内)



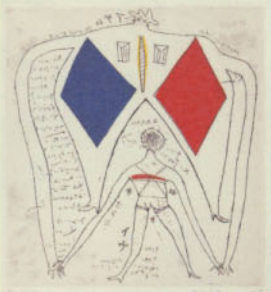
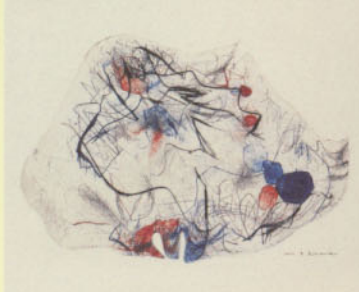
観覧料 一般・830円(700円)/560円、大学生・450円(350円)/250円、高校生・250円(200円)/130円

※()内は前売/団体料金。団体は20名以上。※中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものを)提示ください。

前売券発売所: チケットぴあ・ファミリーマート・コンビニエンスストア等

RECENT ACQUISITIONS: THE M&Y COLLECTION
IKEDA MASUO'S PRINTS
THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO 11.20 TUE. - 12.24 MON., 2007





《青い光》1957 《ムーンフェイス》1961 《アダムとイヴ(捕えられたイヴ)》1964 《ある種の関係》1966 《スプリング・アンド・スプリングス》1966 《私は眠りつづけるA》1969 《吝嗇の罪》1972 《バイナッブル》1976 《陽光のように》1981 《バイオリニスト》1995/左上より 背景:《自画像》1964

RECENT ACQUISITIONS: THE M&Y COLLECTION

IKEDA MASUO'S PRINTS

THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO 11.20 TUE. - 12.24 MON., 2007



このたび京都国立近代美術館に、日本の現代版画の代表的作家として国の内外で高い評価を受けている故・池田満寿夫(1934-97)の版画作品約800点が寄贈されました。これらの作品は、池田満寿夫の長年のパートナーであったバイオリン奏者・佐藤陽子氏と同居が池田満寿夫と共に運営してきたM&Y事務所から寄贈されたもので、「M&Yコレクション」として当館に収蔵登録されました。そのすべては池田満寿夫自身が厳選して手元に残してきた作品であり、1956-97年の約40年間の版画作品をほぼ網羅しています。ここには世界各地の版画展での受賞作品に加え、出版されているカタログ・レゾネに未収録の作品や貴重な豆本のシリーズも含まれており、国・公立美術館としてはその質と数において世界最大規模の池田満寿夫コレクションとなりました。偶然ですが本年は池田満寿夫の没後10年にあたります。今回の展覧会では、当館の新収蔵作品となった「M&Yコレクション」のお披露目として約300点の版画作品を展示し、1960年代、70年代における日本の現代版画の隆盛をリードしてきた池田満寿夫の版画活動の全容を紹介いたします。

池田満寿夫は1934年に旧満州・奉天に生まれ11歳で帰国、1952年に長野北高校を卒業後、画家を志して東京に移ります。そして日本における前衛美術の先駆者の一人でありデモクラート美術協会の創設者である瑛九(えいきゅう、1911-60)に師事、同協会に集う豊嶋や磯部行久とともに油彩・エッチング・石版、フォト・デッサンなどの多様な技法と造形理論を瑛九から学びました。池田の素描家としての才能に注目した瑛九は、当時はまだ珍しかった色彩銅版画の制作を彼に勧め、これを契機に池田満寿夫は本格的な版画制作に踏み込んでいきます。版画制作を開始した直後の第1回東京国際版画ビエンナーレ展(1957)の公募に入選、第2回展で文部大臣賞(1960)、第3回展で東京都知事賞(1962)、国立近代美術館賞(1964)と受賞を重ね、線描によるその鮮烈な作品は内外の関係者から大きな注目を集めました。また1965年にニューヨーク近代美術館が日本人では初めての個展となる「イケダ・マスオ展」を開催、1966年の第33回ヴェネツィア・ビエンナーレ展・版画部門では国際大賞を受賞するなど、この頃から池田満寿夫は海外へと飛翔していきます。

1960年代後半から70年代前半、日本の現代版画画家たちは世界各地の国際版画展で受賞を重ね、日本の版画表現の水準の高さを世界中に知らしめました。こうした日本の現代版画の隆盛と国際的評価は、池田満寿夫の作品とその活動に負うところが少なくありません。池田は1969年から約10年間ニューヨークのスタジオで版画制作を続けましたが、1980年以降は日本に拠点を定め、版画のみならず多様な分野でその才能を発揮し、小説「エーゲ海に捧ぐ」で第77回芥川賞を受賞(1977)、同作品を監督した映画「エーゲ海に捧ぐ」を製作(1979)、そして1983年頃からは作陶にも携わるなど、精力的な創作活動を続けました。池田は若い頃に画家を志しましたが、その意志を生涯にわたり持ち続けていたと言われます。いま約40年間に及ぶその版画作品を通観すると、1970年代半ば以降のその作品は、彼が画家・池田満寿夫を目指した準備活動、あるいは若い時代への回帰の試みであったようにも思えます。今回の展覧会は池田満寿夫版画作品の表現の豊穡さの確認であると同時に、私たちがその作品に対する別の批評軸を探る機会になることを願っています。

【関連イベント】
●佐藤陽子バイオリンコンサート……………日時:12月9日(日)午後2時~3時 場所:1階ロビー
演奏:佐藤陽子、夢野哲彦(ピアノ伴奏) 鑑賞無料、先着100席 協力:イハラ楽器
【展覧会会期中のイベント】
●無声映画上映会……………日時:12月中旬予定(詳細はホームページでお知らせします) 場所:1階ロビー
共催:東京国立近代美術館フィルムセンター
●クリスマスコンサート「冬と音楽と温もりと」……………日時:12月22日(土)午後6時~ 場所:1階ロビー
演奏:京都市立芸術大学音楽学部 共催:京都市立芸術大学

テレホンサービス(展覧会のご案内) 075-761-9900
ホームページ http://www.nomak.go.jp
展覧会のお問い合わせ 京都国立近代美術館
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話:075-761-4111

【交通】
●JR 近鉄京都駅前(A1)のりばから市バス⑤番岩倉行「京都美術館前」下車すぐ
●JR 近鉄京都駅前(D1)のりばから市バス⑤番岩倉行「京都美術館前」下車すぐ
●阪急烏丸駅・河原町駅・京阪三条駅から市バス⑤番岩倉行「京都美術館前」下車すぐ
●阪急烏丸駅・河原町駅・京阪四条駅から市バス④番平安神宮行「京都美術館前」下車すぐ
●市バス他系統「東山二条」または「京都美術館前」下車徒歩約5分
●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約5分
●お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場料金の割引(1台1名)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

